

コテングコウモリ, *Murina aurata*, グループの分類について

前田喜四雄 (岐阜歯科大・解剖)

On the classification of little tube-nosed bat, *Murina aurata*, group

KISHIO MAEDA

日本産のコテングコウモリは Ellerman and Morrison-Scott (1951) 以来, *Murina aurata ussuriensis* として認められている。この *Murina aurata* グループは日本を除くと大変稀であり, 現在まで25個体が報告されているにすぎず, しかも現存する標本はその約半数という状況である。筆者はこれらのうち8個体の標本を観察し, 日本産の12個体の標本と比較し, 主に日本産の本種の分類学的考察を行なった。

各部位測定値の比較の結果, 日本産の標本は樺太, 朝鮮半島及び沿海州産の標本 (以下Aグループと呼ぶ) とほとんど同じであるが, *M. aurata* の基産地を含む中国四川州, 雲南州, インドのシッキム及びネパール産の基亜種 (以下Bグループ) とは以下の点で明確に異なることが明らかになった。

1). 前腕長など一部の部位を除く他の外部形態において, また頭骨においては特に顕著にAグループの個体はBグループのそれよりも大きい。2). 前腕長に対する頭骨各部の相対的大きさは, BグループよりもAグループにおいて大である。3). Aグループの方が吻部が長く, 突出している。また, Aグループの方が前顎骨間隙がより深い。4). 基底全長に対する頭骨全長の大きさは, BグループよりもAグループにおいて小である。5). 頬骨弓及び脳函はAグループの個体の方が, より外方へ張り出している。6). Aグループの個体の陰茎骨はBグループのそれに比べて, より大きく, しかもその先端部がより発達しており, 突出部にある切れ込みも深い。

以上の差違点及び両者の分布が離れていることより, AグループはBグループとは別種, すなわち, *Murina ussuriensis* と考えた方が妥当であると思われる。

ヒナコウモリ科 (Vespertilionidae) 3属7種の染色体バンディング・パターンの比較

原田正史, 内田照章 (九大・農・動物)

Comparative banding pattern analysis in seven species of three genera belonging to Vespertilionidae

MASASHI HARADA, TERUAKI UCHIDA

ヒナコウモリ科3属7種 (ホオヒゲコウモリ属 *Myotis*-シナノホオヒゲコウモリ $2n=44$, カグヤコウモリ $2n=44$, モモジロコウモリ $2n=44$, ノレンコウモリ $2n=44$; ヤマコウモリ属 *Nyctalus*-コヤマコウモリ $2n=44$, ヤマコウモリ $2n=42$; ユビナガコウモリ属 *Miniopterus*-ユビナガコウモリ $2n=46$) の核型と G-および C-band を分析し比較検討した。その結果, 1) ユビナガコウモリを除く6種間において, G-band に極めて高い類似性が認められた。2) *Myotis* 4種の No. 5 染色体は種によりその大きさおよび形態を異にするが, これは constitutive heterochromatin の増加の程度に支配されていることが C-band によって明らかになった。3) *Myotis* 4種の1対の acrocentric (No. 7) に pericentric inversion が見られた。これは *Myotis* から他属が分派されたのちに, この属に独立して起こったと考えられる。4) コヤマコウモリはすべての染色体の動原体部に他種よりも大きな C-band が観察された。5) ヤマコウモリの1対の大きな metacentric は *Myotis* の No. 8 と No. 10 の centric fusion によって生じたものであることがわかった。6) ユビナガコウモリにおける2対の大型の metacentric は *Myotis* の No. 1 と No. 3 にそれぞれ一致した。*Myotis* の metacentric (No. 2) に centric fission がおこり, ユビナガコウモリでは acrocentric が2対増加したと考えられる, これに相当する G-band を有する染色体は今のところ明らかでない。また, 他の染色体間にも G-band の不一致があり, これは reciprocal translocation や paracentric inversion など染色体変異が起こっている可能性を示唆する。